

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	いちき串木野市家庭教育支援チーム (呼称:ほっとルーム) URL: http://www.city.ichikikuchikino.lg.jp/
②活動拠点	いちき串木野市役所 こどもみらい課内
③活動範囲	いちき串木野市内
④組織体制	4 人 主任児童員 2人、元教諭 1人、保護者 1人
⑤活動開始年度	平成 20 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) いちき串木野市役所 こどもみらい課 (TEL)0996-33-5654 (E-mail)kodomo1@city.ichikikushikino.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>
③活動内容	【具体的な活動内容】 1. 保護者への相談活動 (1) 市内全小学校の1年生長子(年3回)、2年生長子(年1回)の家庭訪問

	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立しがちな家庭が無くなることを目指し、心の扉をノックする家庭訪問をする。 (2) 出前サロン「おあしす」の開設(希望する小学校・保育園等で開設) <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級やPTAの合間を活用した相談の場を開設 (3) 「ほっとルーム」における来室、電話相談 <p>2. 広報・アンケート・連携・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てアドバイス等を載せた「ほっとルーム」だよりを毎月作成し、市内全小・中の長子家庭・希望する保育園等・児童委員・公民館長等に配布する。 ・家庭教育に関するアンケート調査の実施(年1回・市内全小学校の長子家庭) ・家庭教育支援連絡協議会の開催(年1回) ・家庭教育支援員研修会等への参加 ・事業説明会(学校入学説明会時に実施) ・関係課等との情報交換会、連絡会(SSW、家庭児童相談員、学校) <p>3. 家庭教育学級等の取材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換や学びの場となる家庭教育学級や読み聞かせグループ等を取材し、「ほっとルーム」だよりに掲載することで参加を促す。 ・各地区女性連が実施する母親学級や子育て支援センターの訪問・取材活動 <p>4. 企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が学校行事に参加しやすい環境づくりのため、商工会議所役員を家庭教育支援連絡協議会委員に委嘱するとともに、「家庭教育について提言」の原稿を依頼し情報紙「ほっとルーム」だよりに掲載する。 ・「ほっとルーム」だよりの配布 いちき串木野商工会議所・市来商工会・事業所等に配布
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域、学校、企業などの橋渡しを行う中で、連携した家庭教育支援ができています。 ・アンケート調査では、1年生長子家庭訪問について82%の保護者が良いと回答し、「相談できる人、できない人、それぞれだと思いが見守る事は大切だと思う。」という意見もあった。 ・出前サロン「おあしす」については、74%の保護者が良いと回答し、「出前サロン「おあしす」があるということを知っているだけでも安心する」という意見もあった。

	<p>・情報紙「ほっとルーム」だよりは、84%の保護者が読んでいる。「いつも子育てへのエールを感じている。見守っていただける安心感がある。」「自分を見つめ直す機会になっている」等の意見があった。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>